

<p>ヘーベル・ベースバック・アスロック・イーゼット・フレイムキット 販売施工 名取屋興産株式会社 TEL 042 (341) 8811 FAX 042 (345) 1002</p>	<p>耐震診断現場調査(コア採取試験)・赤外線調査・超音波測定等コンクリート建造物の総合診断会社</p> <p>三協 株式会社</p> <p>〒140-0013 東京都品川区南大井 2-12-10 TEL :03-3298-2081 FAX :03-3298-2080 http://www.sankyo-net.co.jp</p>
--	---

●高田泰治郎 **世にも不思議な出来事 (2)**
 タカダ都市設計 一級建築士事務所 府中市武蔵台

一応交通規制はしたもののかわらの落下の可能性は高い。Sさんに近くの消防署にこのことを相談してみたかどうかと提案し、その日は帰宅した。

翌朝板金やとともに、現地に向かうと落ちそうな瓦は取り除かれ、波打った瓦だけが残っていた。昨日近くの消防署に相談したら、はしご車と18人ほどの隊員がやってきたらしい。作業中火事があり、何人かは火事現場に向かい、残った4人で取り除いたらしい。相談してみるものだと感心した。早々小松君に上に乗ってもらおうと、瓦や下地、瓦棧等々全く異常なし。ただ瓦が下から持ち上げられているとのこと。瓦をもとに戻し、とりあえず着しましたが、原因の特定はできなかった。

板金屋と二人で考えた結論は屋根瓦裏に小動物が入り込んだ可能性が高いのではと？

ネズミ駆除・シロアリやの坂本君に電話して、屋根瓦の裏に入り込む小動物について聞いてみると、あまり事例は聞かないがハクビシンならこぶし程度の大きさの穴があれば入り込む可能性があるとのこと。ネズミの可能性もあるが瓦を動かすほどのパワーはないとのこと。

S邸の屋根瓦は三州瓦一文字軒瓦で、面土はない。ただしケラバ瓦や野地板と一文字軒瓦の間に空間ができる。

そこからハクビシンが入り込んで出るに出られず、瓦の下でパニックになり右往左往してやっと1箇所をずらし逃走したのではないか。その後ずれた瓦がすべり、雪止めにあたり、雪止めの一部が道路に落下したのではないだろうか。

そうしたら大変珍しいことかと思いますが、今後またある可能性は高い。このハクビシン以外のハクビシンは学習していないので入り込むかもしれない。

なにせ23区内にはハクビシンが1000頭以上生息しているのです。



●支部スケジュール

5月	武蔵野市役所第1回連絡会 (5/6) 支部総会 (5/18) 第1回支部役員会 (5/18)
6月	多摩建築指導第2課意見交換会 (未定) 北部支部役員会第2回耐震委員会 (6/15) 研修旅行 (6/12, 13)
7月	武蔵野市役所第1回連絡会 (7/7) 第3回支部役員会第3回耐震委員会 (7/20) 暑気払い (7/20) 耐震診断実務者講習会 (7/22)
8月	第4回支部役員会第3回耐震委員会 (8/17) 耐震セミナー準備 (未定)

●支部関連イベント

5月	武蔵野ピクニック (5/21) 第1回ブロック会議 (5/31)
6月	本部総会 (6/) 第6回ブロック会員交流ゴルフ大会 (6/7)
7月	第2回ブロック会議 (未定)
8月	ふれあいフェア準備 (未定)

季刊 広報 ほくぶ さつき号
第14号 (5月18日発行)

発行：(社)東京都建築士事務所協会 北部支部
 住所：〒188-0011 西東京市田無本町 4-9-1
 測量センター内
 メールアドレス：info@taaf-hokubu. jpn. org

●福室 武 **私の街「東村山」** ふくむろ建築設計事務所 東村山市

西武新宿線。東村山駅東口にある三本のけやきは昭和51年東村山出身のコメディアン志村けんさんが当市の名を全国的に広めたことに対し、感謝状を贈呈した。その際に志村さんが植樹されたものです。当市が全国的に有名になった「東村山音頭」の中に出てくる多摩湖(村山貯水池)は(ほとんどが西隣の東大和市にあります)新宿副都心の開発により、閉鎖された淀橋浄水場の代替地となったのが東村山浄水場です。

ちなみに、東村山駅の発車のメロディーに東村山音頭が流されておりましたが、駅舎の高架工事に伴い中止しております。当市は旧石器時代からの遺跡が広く分布されており、縄文後晩期では下宅部(しもやけべ)遺跡が知られ、八国山体験の里には数多くの出土品が展示され下宅部遺跡発見のもりには後世の保存・発掘技術の向上に期待して、現在未発掘状態で土中に保存されているようです。三本のけやきの横にある高層ビルが東村山駅西口に建つパークハウスワンズタワー「地上27階・高さ96.36メートル・平成21年6月完成」です。古い遺構と近代的な都市空間を有する東村山市です。



●イベント結果

- ・3月26日 第6ブロックボーリング大会 45名参加：優勝 北部支部 準優勝 八王子支部 3位 たちかわ支部
- ・4月5日 支部ゴルフコンペ(レイク相模CC) 20名参加：優勝者 竹松和利(グロススコア 89) 準優勝 見田憲行(グロススコア 90) 3位 西塚隆 (グロススコア 89)

●会員入会・移動

<協力会退会>ニチハ株式会社 西東京営業所	<正会員退会>水谷俊博建築設計事務所	
<協力会入会>セイキ販売㈱ 白石達也	176-0012 東京都練馬区豊玉南 3-21-16	03-5999-5820
(正会員入会) ㈱NUT 設計室 夏原 弘美	180-0022 武蔵野市境 1-3-4 エーブル武蔵境 206号	0422-38-9012
(計報) 吉沼 清	180-0014 武蔵野市関前 2-5-18	0422-51-2240

<p>児玉コンクリート工業株式会社 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-9-9 http://www.kodama-conc.jp</p>	<p>アルミニウム製建具、鋼製建具 YKK AP株式会社 東京ビル建材統括支店立川支店 〒190-0012 東京都立川市曙町 1-27-10 読売立川ビル6F TEL : 042-521-1020</p>
--	---

●高田泰治郎 世にも不思議な出来事 (1)

タカダ都市設計 一級建築士事務所 府中市武蔵台

連休も最後の日曜日の午後、携帯に突然の電話。お得意様のS様の奥さんからの電話で、「2階の屋根瓦が道路に落ちてきて、どうしよう・・・」S邸は日本瓦の本格的な日本家屋で、築25年でそれほど痛んだ建物ではないので、こちらも状況を飲み込めず、「とりあえず状況把握に行きます。」と答え、とことこと中野に向かった。

日曜日なので道路は空いていて、50分ほどで到着、家の北側に瓦がわけて落ちていた。遠くから屋根の上を双眼鏡で観察すると、落下しそうな瓦がまだ4枚ほど上に残っている。持参したカラーコーンで道路通行規制を行い、万が一に備えた。落ちた瓦をみると、平がわらでなく、雪止め瓦の一部らしい。

もう一度屋根上をみると4メートルほど横に瓦が一部めくりあがり波を打った状況にある。Sさんに雨漏りとか昨夜なにか異常はなかったか確認してみたが、全くないとのこと。とにかく突然のことらしい。

板金やの小松君に電話して応援を頼んだが、都合が悪く、明朝屋根に上がって原因究明と今後の対策を行うこととなった。

屋根瓦の通りは縦、横きれいに通っており、ほんの一部の瓦が盛り上がり、ずれている。おそらく脱落した瓦の一部がすべり、雪止めにあたり雪止めが取れて落下したようだった。

いろいろ考えてみましたが、これという原因は全くなかった。近所の人も出てきて「風かしら、地震もないのに」と不安そうでしたが、我知らず。建築的な要因とした場合、この状況で考えられるとしたら、瓦の脱落した位置が2段目の雪止め付近であったことから、雪で瓦棧の一部が腐朽し瓦が滑った可能性はあるか？

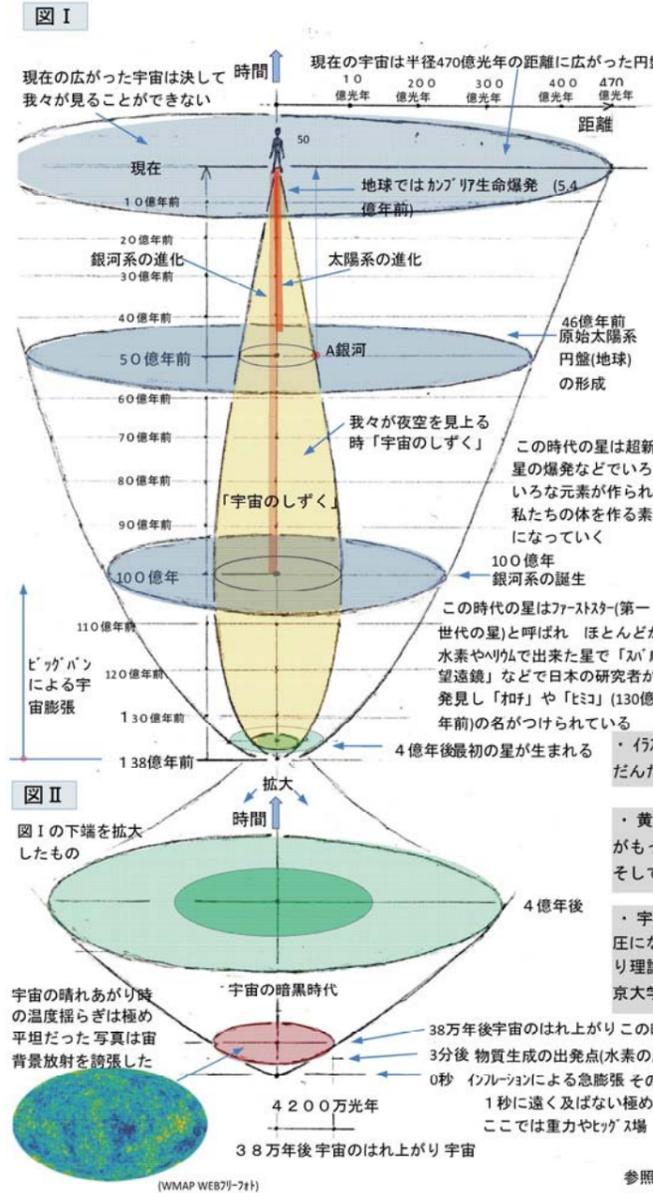
現在の瓦棧は雨漏りした場合のことを考慮して、水貫きの細工がしてありますが、この当時の建物にはその細工のないものなので、可能性は低いけど



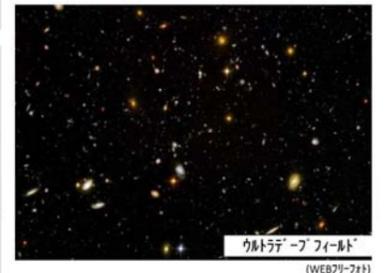
●秋田 昌利

宇宙のしずく

秋田二級建築士事務所 久留米市滝山



・(右写真)ハッブル宇宙望遠鏡で見る「ウルティマ・フィールド」には近傍の銀河から数十億光年の遠い銀河まで様々な銀河が混在して映っている。それはまるで時間と空間の中に銀河たちが浮かんでいるように見える。



・宇宙は138億年前ある1点(原子よりはるかに小さい点)から始まったと言われている。この1点についてはまだ未解決なようだがその後どのように宇宙が変化していったのか、その経緯がだんだんわかってきた。それを図にして考えようと思う。左のイラスト図を見てください。

・図Iは宇宙の始まりから現在までの姿を縦軸に時間を横軸に宇宙の大きさの距離(億光年)で表している。時間は下から上へ流れていて下端が宇宙の始まりになる。我々は3次元の空間だが図では2次元の円で表し広がりを円の大きさで表した。図IIは図Iの下方を拡大したもの。

・銀河の光は空間の中を光速で飛んでくる。その光をスペクトル分析をして銀河までの距離を測る。たとえば測定した銀河までの距離が50億光年だとすると図中のA銀河()位置になる。この計算はハッブルの法則を使って計算するので詳細はここでは省略します。

・「ウルティマ・フィールド」に写っている銀河たちは左図黄色円錐のような部分「宇宙のしずく」の表面にある銀河たちだ。いつも私たちがデジタルカメラで写すスナップ写真や風景写真のように一瞬を映すものと違う。数十億年にわたる時間の積み重ねが一枚の写真に見える。

・イラスト図の見方は下から上へ円盤(青色の円)を一枚一枚動画のように変化させてゆくと円盤がだんだん大きく変わっていく様子わかる。これが宇宙の膨張を表している。

・黄色の「宇宙のしずく」の下方はしぼんで楕円体になっている。これは宇宙の初期がもっと小さかったことを表している。百億年前は今の宇宙の1/3だったと言われている。そして最下点が宇宙の始まりになる。

・宇宙の始まりはインフレーションという空間の急激な膨張から始まりその後ビッグバンにより超高温高圧になり莫大な物質が生成された。欧米ではビッグバンの中でインフレーションが起きたとする解釈もあり理論が分かっている。ただインフレーションの概念は日本の科学者佐藤勝彦さんが最初の提唱者(東京大学)ですのでこちら方を採用している。

・宇宙の晴れ上がりとは温度が3000度ぐらいに下がればらだった陽子や電子光子が陽子と電子で水素原子を作るなどで光子が自由に飛び回ることができるようになったこと

参照資料(一家に一枚宇宙図2013年版)(公財)科学技術広報財団 ニュートンック別冊「新宇宙図」他



東京都東村山市秋津町3-50-3
042 (393) 1177

生コン販売・ALC (クリコ)・耐火被覆他
日興産業株式会社
TEL 042-342-0044 FAX 345-9576

自動ドア・ステンレス建具
NABCO ナブコシステム株式会社
西東京支店
〒186-0003 国立市富士見台2-31-1
TEL : 042-575-1725
http://www.nabcosystem.co.jp

2011年4月1日 株式会社LIXILが新たに動き出します。
LIXIL INAX SHINNINEXI sunwave TCEX
システム・INAX・新日軽・サンクエーブ・東洋エクステリアは、2011年4月1日より、株式会社LIXIL(リクシル)としてお客様の多様なニーズに対応した商品とサービスを提供してまいります。
株式会社LIXIL 東京西支店
東京都昭島市田中町610-3
http://www.lixil.co.jp